

■まちぢから協議会連絡会研修会での意見

参考資料5

テーマ	現状の課題、困っていること	改善に向けたアイデア	分類
1. 市長が定める認定区域について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区とまちぢから協議会の区域が異なることにより、まちぢから協議会の事業参加に問題が生じている地区がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会と自治会区域の調整をする機会を明確にしたら良いのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南湖は一つの小学校区、小和田は小和田と松林の小学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校とまちぢから協議会の区割りを見直すことが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の学区が違うため、担当者負担が大きい</li> <li>・運動会等のイベントでこどものエリア分けが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に関しては自治会対抗をなくす</li> <li>・他のイベントも自治会にこだわらないような形に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13地区の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減らすことで役員減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育振興会、推進協において学区割がはっきりしていないため、子どもたちの参加できる・できないに不公平が生じている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的・狙い「子どもたちの健全な育成」を踏まえ、柔軟な運用で対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町名が2つに分かれている</li> <li>・学校単位で分ける方法は自治会単位の行動が別々で混乱する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校での区域分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会によっては学区がかぶっているためにイベント時など、どちらの団体に声を掛けるのか悩むことがある</li> <li>・特認区で他地区の学校に通う子どもがいる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区をまたがった小中学校がまちぢから協議会の事業の中に入っていない苦情（藤沢市と茅ヶ崎市にまたがった地域の悩み）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の区分を明確にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域の見直し</li> </ul>

テーマ	現状の課題、困っていること	改善に向けたアイデア	分類
2. 会議の開催時間などの運営方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年配者は昼間、若い人は夜を希望</li> <li>・部会は一日がかりで若い人がなかなか出られない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインと対面を織り交ぜて会議を開催することで高齢者、若い人、子育て世帯の人も参加しやすくなる（環境設定、オペレーションをできる人の問題はあ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方法の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議が多い。役員会、運営委員会、部会に加え、イベント時期は非常に忙しくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の効率化（役員会と運営委員会を同日に開催するなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担の軽減</li> </ul>
3. まちぢから協議会を知ってもらう方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会は知っているけど、まちぢは知らない。自治会員、一般の人にも知られていない。浸透していない。自治会連合会が残っているところは連合会知っている</li> <li>・組織は地区によってバラバラ（運営委員会はほぼ同じ、部会がそれぞれ）。</li> <li>・まちぢから協議会自体のイベントが少ない（自治会のイベントのほうが多い）</li> <li>・新しい転入者を入れるのが難しい</li> <li>・部会が活発なところがある。活発なら部会員も集まる。一般にも知ってもらえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の推薦で部会員を集める</li> <li>・マンション入居条件に自治会加入</li> <li>・まちぢのイベントを増やす。特に子供対象（親がついてくる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度や活動の周知</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちぢから協議会は全住民が構成員だが、自治会ありきの活動なので自治会非会員には周知されていない</li> <li>・広報を配布されていない人には市はどう考えているのか</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度や活動の周知</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で魅力ある活動ができているのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に入っていない世帯にも広報紙を全戸配布（自治会加入希望につながったケースあり）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度や活動の周知</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非自治会員については広報活動をするすべがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非自治会員への広報紙の配布の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度や活動の周知</li> </ul>

テーマ	現状の課題、困っていること	改善に向けたアイデア	分類
4. 各地区まちぢから協議会の認定条件について	・自治会が反対しているためまちぢから協議会の認定を受けることができない	・ <u>市の条例を見直してほしい</u>	・ 認定条件の見直し
	・自治会に入っていないマンションはどうするのか。自治会ができて、まちぢから協議会に入ってくれないとなると、まちぢは認定されない		・ 認定条件の見直し
	・まちぢから協議会は自治会と協調性を持っていかなければならない		・ その他
	・お金の仕組みが気になる		・ その他
5. まちぢから協議会の運営費等について	・まちぢから協議会の活動費を自治会が負担するのは問題である	・ <u>まちぢから協議会の活動は地域全員が対象なので、市から全額を助成してほしい</u>	・ 運営費等の見直し
	・自由に使用できる資金が欲しい ・自治会員ではない人に自治会費を使うことに困っている（まちぢ主催の運動会等）	・各地区でもっと使いやすく活動しやすいように制度設計してほしい ・ <u>一律で25万円というのは改善してほしい（地域住民数が違いすぎる）</u>	・ 運営費等の見直し
	・市からの運営等助成金（25万円）では何もできない	・ <u>特定事業としての申請のあり方（例えば、広報紙のお金など）</u> ・ 特定事業をうまく使う	・ 運営費等の見直し
	・神社仏閣がない地区なので、例えば、盆踊りなどは地区まちぢから協議会が実施している ・運営費は地域の寄付等で賄っているが寄付集めが大変である	・行政に対して特別枠で助成金を制定 ・ <u>地域の実情に応じた額の設定</u>	・ 運営費等の見直し
	・運営等助成金（25万円）、特定事業助成金（200万円）の申請手続きが煩雑。毎年申請しなければならないのはなぜか	・ <u>定例的事業は運営費に入れるべき</u>	・ 運営費等の見直し

テーマ	現状の課題、困っていること	改善に向けたアイデア	分類
5. まちぢから協議会の運営費等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員手当てが0円（300時間のボランティア）</li> <li>・各地区役員手当てが出ているところ（微々たるもの）と全く出していないところがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>運営費のアップを願いたい</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費等の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会費から分担金をもらっているところといないところがある</li> <li>・非自治会員から全くもらっていないのでそれをどうするか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>運営費のアップを願いたい</u></li> <li>・非自治会員からも分担金として、会費を徴収できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費等の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練に12万円掛かった費用の4分の3しか負担してくれない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミセン事務局員の処遇対応</li> <li>・まちぢから協議会の事務所と人（担当者）をつけてほしい。</li> <li>・電話一本専用がない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>
6. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9つの部会がそれぞれに提案・実行している。部会の活動が活発で役員会（自治会）で何をやるかという提案や話し合いが難しい</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちぢから協議会の部会としてコミセン管理運営委員会が設置されている</li> <li>・事業のレベルが低くみられる</li> <li>・役員のフォローが必要である</li> <li>・まちぢから協議会の会計が予算管理する、負担が多くなる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>